

No.

科目	世界史探究	単位数	3	週時間数	2	年次・コース・組	2年次文系全クラス
使用教材	新世界史(山川出版社) ニューステージ世界史詳覧(浜島書店)						

目 標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を探究する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な社会の有為な形成者に必要な資質・能力を育成することを目指す。
-----	--

身につけてもらいたい力

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	ステップ3 基本事項・重要語句を用いて、中世までの出来事やその背景を説明することができる。	現代に反映されている事象を考察し、歴史上の出来事が現代社会と将来に結びつけることができる。	「地球市民」の一員としての自覚を持ち、問題解決の一助として、中世までの学びを活用することができる。
	ステップ2 古代・中世の基本事項・重要語句を理解し、関連する事象と結びつけることができる。	各国の通史の考察から東西交流に視点を広げ、共通性を表現することができる。	与えられた授業課題のみならず、家庭学習を通じて自ら疑問に思った課題解決に取り組むことができる。
	ステップ1 教科書本文に記されている基本事項・重要語句を理解することができる。	授業で説明されている内容の重要性を知り、興味関心のある国の通史をまとめることができる。	担当者の指示や講義内容に関心を持ち、グループワークなどに取り組むことができる。
評価方法	授業時の観察 定期試験	授業時の観察 定期試験 授業ノートの取り組み	授業に取り組む姿勢や意欲 課題への取り組み ルーブリックでの自己評価

※この評価基準(目標)により評価しますが、各単元の目標や難易度によって達成度が変わってきます。

それらを考慮しながらA、B、Cの評価をし、またそれを基に5段階の評価がつきます。

授業の形態、方法

授業プリント等を用いて事前学習に取り組んだことを前提に、講義・解説を挟み、グループワーク等によって主体的な学びを目指す授業形態となります。

担当者より

世界史を通じて、当時の人々が何を考え、何を求めて生きていたのかを想像し、今を生きる我々との違いに目を向けてみましょう。人の気持ちを汲み取れるかどうか、興味・関心の度合いと理解度の違いを生むことになるでしょう。

学習計画

月	単 元 名	予定時数	学 習 の 内 容 と ね ら い	実施時数
4	ガイダンス I 世界史へのまなざし 1章 人類の歴史と私たち	21 (6)	人類の歴史を、地球環境から見つめることや、世界の歴史を日常生活から捉えることで、人類や世界の歴史を身近なものと感じられるようにする。	
5	2章 古代文明の特質	(7)	文明の誕生から、古代オリエント、古代の南アジア・東南アジア・オセアニア・東アジアの特質を比較しながら知識を増やすことを大きな狙いとする。また、同年代のアフリカや南北アメリカの様子にも触れ、地球規模での文明の発露を理解する。	
6	3章 アジア諸地域の国家と社会	(8)	古代中国国家の形成から北方民族との抗争、中華帝国の分裂・融合を経て隋唐帝国に至るまでの通史を理解する。また、国家の形成に関わる周辺のアジア世界についても関連づける。	
7 ・ 8	(前期中間試験) 4章 西アジアの帝国と古代ギリシア	13 (6)	古代西アジアの専制国家と古代ギリシアの民主政の違いに着目し、東西融合の端緒と言えるヘレニズム時代へと発展していく過程を理解する。	
9	5章 古代ローマ	(7)	ローマの発展と帝国形成からローマ帝国の繁栄とキリスト教との関わり、そしてローマ帝国の衰退までを時系列に理解できるようにする。	
10	(前期期末試験) 6章 ヨーロッパの形成とイスラーム教の誕生	12 (6)	中世ヨーロッパの形成に関わるカール大帝の事蹟やイスラーム教の誕生とカリフの政権まで、現代にもつながる歴史の展開を通じて、現代社会の考察につなげる。	
11	7章 結びつくユーラシアの諸地域	(6)	イスラーム教を基軸とするムスリム政権の拡大や、宋と周辺諸国、モンゴル帝国を通じて、結びつくユーラシアの諸地域を理解する。	
12	(後期中間試験) 8章 キリスト教ヨーロッパの成熟と交流	19 (6)	教皇権の確立と十字軍の過程、その背景にあるヨーロッパの膨張と成熟、そしてヨーロッパの危機と再生について、中世から近世へと向かうヨーロッパの姿から歴史のダイナミズムを学ぶ。	
1	9章 交易の進展と東アジア・東南アジア	(5)	東西交流の動向から、明代の朝貢世界への展開を理解し、大交易時代に突入した東アジア・東南アジアの発展をヨーロッパ世界との比較において着目し、アジア繁栄の時代を考察する。	
2 ・ 3	10章 アジア諸地域の再編 (後期期末試験)	(8)	オスマン朝、サファヴィー朝、ムガル帝国鼎立の時代を学び、アジア諸地域の再編を理解する。また、清朝支配の拡大や清朝の近隣諸地域について学び、近代へのつながりを意識させる。	
合計時数		65		